

ボランティアコーディネーション

第2回

何を大切に“コーディネーション”しているのか

ごとうまりこ
後藤麻理子

特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 事務局長

■ボランティアコーディネーターには専門性が必要なの？！

みなさんは、日ごろ、何を目標に、そして何を大切にコーディネーションをしていらっしゃいますか。

例えば、あなたが組織から“年間〇〇〇人のボランティアを受入れる”“登録ボランティアを増やす”などということだけを目標として示されているとしたら、それはボランティアが活動する意味とコーディネーターの役割に対する組織の理解に誤解があるといつてよいと思います。ボランティアコーディネーションは、財源や人手不足などの急場をしのぐためのマッチング作業ではありません。

何をめざして、何に価値をおいてコーディネーションをするのか。このことはボランティアコーディネーターの“仕事の中身”を左右する重要なポイントになります。「コーディネーターには専門性が必要なのか？」という議論もこの中身が何なのかということに大いに関係があるといつていいでしょう。組織の考え方いかんによっては“専門性なんていらぬ”という仕事を任されているかもしれません。そのためにも組織や活動分野を超えたボランティアコーディネーターの専門性を明らかにする必要があります。

■ボランティアコーディネーターが大切にしている価値

ボランティアコーディネーターの専門性とは何か、当会が一昨年、多様な市民活動の分野からボランティアコーディネーション実践に詳しいメンバーを集めて設置した委員会では、専門性を〈価値〉〈知識〉〈スキル〉で構成されるものとした上で、ボランティアコーディネーターが大切にすべき〈価値〉として次の5つの視点をあげました。

①【市民の自治意識の醸成】 市民がボランティア活動を通して、自分自身

のやりがいや自信をつかみ、積極的に社会参加しようとする意識を高めることを支援するという点。社会的課題に気づき、関心を深め、その改善や解決のために自ら行動する市民を増やしていこうということです。

②【ボランティアの価値の発信・普及】 まだボランティア活動に関心のない人々、あるいは関心があっても活動に踏み出せない人々に対して、活動することの魅力や醍醐味に見える形にして伝えるという点。さらにボランティア活動の価値を組織や身近なコミュニティのなかにも広めていくことです。

③【出会いとかかわりあいの機会の重視】 さまざまなコミュニティの中で多様な人々が出会いとかかわりあう機会を創り出すという点。お互いの異なる考え方や文化にふれ、共感や葛藤することを通して、相互理解や新たな価値が生み出されることを促していくということです。

④【新たなプログラムや組織やコミュニティの創出】 一人ひとりのニーズを起点にコーディネーションを始めながら、活動の場やプログラムを開発したり、活動を発展させるためにグループや組織、コミュニティを新たに起こしていくという点。既にあるもののマッチングには留めないということです。

⑤【対等な協働関係の構築】 組織やコミュニティの中に、意図的・戦略的・計画的にボランティアの参加とつながりをつくるという点。1つひとつのプログラムの成功はもちろん、その先の目標とするのは、共感と共生思想にもとづいた人や組織の対等な協働関係を創り出すということです。

普段は意識しないかもしれませんが、日々のコーディネーションが何につながっているのか、時には立ち止まって振り返りたいものです。

◆ ◆ ◆ 会議・イベント・助成関連情報 ◆ ◆ ◆

ボランティア・市民活動シンポジウム2009

～ボランティア・市民活動が生み出す社会的効果・価値を考える～

- 主催：「広げれボランティアの輪」連絡会議
- 日時：平成21年6月25日(木) 13時～18時
- 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟102号室
(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

4. プログラム：

○対談

「ボランティア・市民活動が生み出す社会的効果・価値を考える
～連絡会議の新『提言』を読む」

(語り手) 山崎美貴子氏 「広げれボランティアの輪」連絡会議会長／
神奈川県立保健福祉大学学長
(聞き手) 阿部陽一郎氏 中央共同募金会企画広報部副部長

○シンポジウム

「実践から見るボランティア・市民活動の社会的効果・価値」
(シンポジスト)

後藤 浩二氏 (東京都) スープの会代表
泉谷 昇氏 (愛媛県) アジア・フィルム・ネットワーク事務局長
鈴木 恵子氏 (神奈川県) ボランティアグループすずの会代表
(コーディネーター)
安藤 雄太氏 東京ボランティア・市民活動センターアドバイザー

○連続レポート

「ボランティア・市民活動の論点～今日的な課題と今後の方向性」
(レポーター)

早瀬 昇氏 大阪ボランティア協会常務理事・事務局長
原田 正樹氏 日本福祉教育・ボランティア学習学会副会長／
日本福祉大学准教授
妻鹿ふみ子氏 日本ボランティアコーディネーター協会代表理事／
京都光華女子大学教授

(コーディネーター)

上野谷加代子氏 「広げれボランティアの輪」連絡会議副会長／
同志社大学大学院教授

5. 参加対象：ボランティア・市民活動推進機関・団体関係者、活動実践者
(ボランティア・NPOスタッフ等)、その他活動に関心のある
方など、どなたでも参加できます。

6. 定員：200名

7. 参加費：500円(当日会場でお支払いいただきます)

詳しくはホームページ(<http://hirogare.org/>)をご覧ください。

8. お問い合わせ先：

「広げれボランティアの輪」連絡会議 事務局
〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
社会福祉法人全国社会福祉協議会
全国ボランティア活動振興センター内

TEL. 03-3581-4656 FAX. 03-3581-785

E-mail vc00000@shakyo.or.jp